

学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』 2013年度新卒採用 就職・採用活動 3月度調査報告

エン・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二)が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』(<http://gakusei.enjapan.com/>)は、2013年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2013年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしましたので、以下、概要をご報告いたします。

13年度調査開始以来、初めて学生の悩みトップが「面接」に 企業の「選考」に関する悩みも増加し、いよいよ選考が本格化

【注目動向①】>>現在の就職・採用活動の状況

●<学生>学生の現在の悩みは、「面接(20.5%)」、「エントリーシート(19.4%)」

企業セミナー参加社数は前月比7.1社増加の13.3社(図1、2、3、4、5、6、7、コメント1)

⇒学生の悩みは、「面接(20.5%)」がトップで、前月よりも10ポイント増加しました。前月は悩みトップであった「エントリーシート(19.4%)」は、前月より6.7ポイント減少した他、企業セミナー予約社数が前月比6.2社増加の17.3社、企業セミナー参加社数が前月比7.1社増加の13.3社となるなど、学生の活動が、実際に企業に接触する段階にシフトしているようです。

●<企業>企業の悩みトップは、5カ月連続で「母集団形成(26.5%)」(図8、9、10、11、12、コメント2)

エントリー受付開始率・説明会開始率ともに前年とほぼ同水準、選考開始率は43.6% 前年比8.5ポイント減

⇒企業の悩みは、5カ月連続で「母集団形成(26.5%)」がトップとなりました。これに次ぐ「選考(23.0%)」は、前月よりも11.1ポイント増加しており、母集団形成に苦勞しつつ選考を進めているようです。選考プロセスの進捗状況については、エントリー受付開始率(79.4%)、会社説明会開始率(65.7%)ともに前年とほぼ同水準ですが、選考開始率は、43.6%(前年:52.1%)となっており、前年を8.5ポイント下回りました。

●<企業>母集団形成状況、「想定より大幅に少ない」「想定より少ない」が増加(図13、14、15)

⇒母集団形成の状況については、「想定より大幅に少ない」「想定より少ない」が45.0%(前年:25.1%)と前年より増加した一方、「順調に確保出来ている」は48.5%(同:72.5%)と前年より24ポイント減少しました。また、現在の採用市況について「前年よりもとても厳しい」「前年よりも厳しい」と回答した企業は30.3%(同:22.7%)で、前年より7.6ポイント増加しました。

【注目動向②】>>ソーシャルメディアの活用について

●<学生>学生の就職活動におけるソーシャルメディアの利用率は42.2%

<企業>新卒採用においてソーシャルメディアを活用している企業は9.3%(図16、17、18、19、コメント3、4)

⇒ソーシャルメディアを就職活動時に利用している学生は42.2%(9月調査:43.1%)でした。利用する理由は「最新の情報を知るため」が53.8%(同:62.7%)でトップでした。次いで、「他の就活生の動きを知るため」が24.5%(同:17.3%)で、前回調査よりも7.2ポイント増加しています。また、ソーシャルメディアを就職活動に利用している学生のうち、68.4%が就職活動に「役立っている」と回答しました。一方、就職活動においてソーシャルメディアを活用している企業は9.3%でした。

【注目動向③】>>職業観・人材観

●<学生>企業規模別の関心度、「どちらともいえない」が11月調査時よりも9.1ポイント増加

中小・ベンチャー企業のプラスイメージは「若い時から責任ある仕事を任せられる」(図20、21、22、コメント5)

⇒企業規模別の関心度は「どちらともいえない」が47.6%(11月調査:38.5%)で、11月調査時より9.1ポイント増加しました。就職活動を通じて様々な企業を知ったことで、規模以外の企業選びの基準ができたことが考えられます。

企業へのプラスイメージとしては、大手・有名企業は「社会貢献度が高く世の中へのインパクトが大きい」、中小・ベンチャー企業は「若い時から責任ある仕事を任せられる」がそれぞれトップとなりました。

本ニュースリリースに関する問合せ先

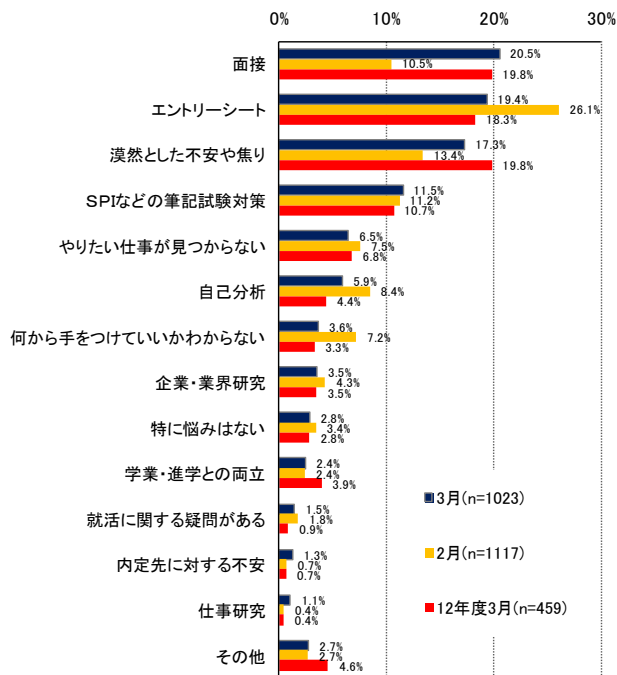
エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL 03-3342-4506 FAX 03-3342-4507 MAIL en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図1: 現在の悩み<学生調査>】



【コメント1: 現在の悩み※理由<学生調査>】

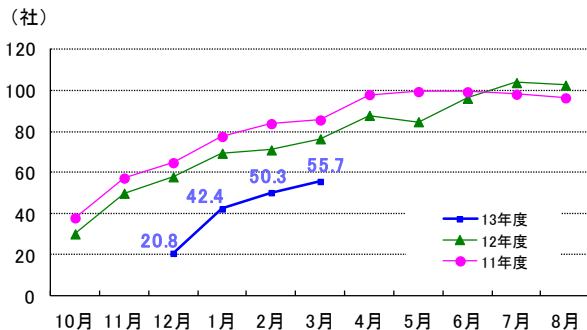
<面接>

- 緊張しているせいか、うまく話すことができない。人事の方が冷静すぎて話している間不安になる。学生時代に頑張ったことが本日に相手に納得していただけるものか不安である。(文系/男性)
- もともと話すことが苦手で、面接となるとさらに緊張して上手く話せません。頭の中が真っ白になって言葉につまってしまうので、どうしても面接で上手く話せるかが悩みです。(文系/女性)
- 人前で話すのが苦手なと、高校・大学ともに推薦で受験したため、就活のハンデなしの面接に不安を感じる。(理系/男性)
- 書類審査は通過するが、面接で落とされる。きちんと話しているような気がするし、雰囲気もいいと思うのだが、何がいけなかったのかわからない。また、資格をもっておらず、大学でも特別な技術を身に付けたわけではないので、業において自分に何ができるのかわからない。(理系/女性)

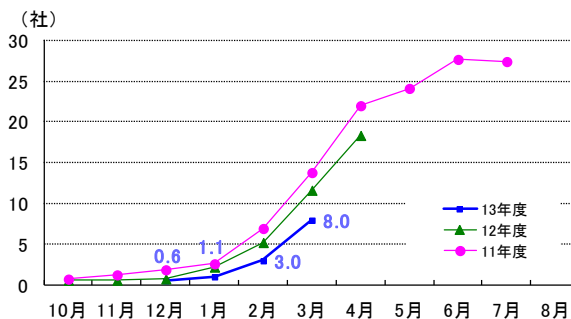
<エントリーシート>

- ESを提出しているが、なかなか通過しないので、面接にまで進めない。自分のアピールが出来ていないのではないかと不安になる。どうにか自分をうまく表現できるESを書きたいが、どこがダメなのかよくわからなくて行き詰っている。(文系/女性)
- 志望動機をうまく書けない。(文系/男性)

【図2: エントリー社数<学生調査>】



【図3: エントリーシート提出社数<学生調査>】



【報道関係者各位のお問合せ先】

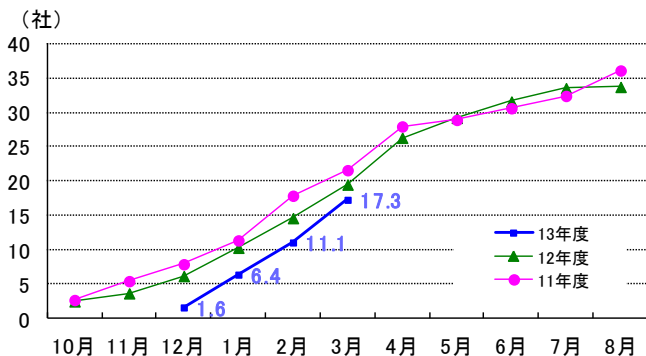
エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507

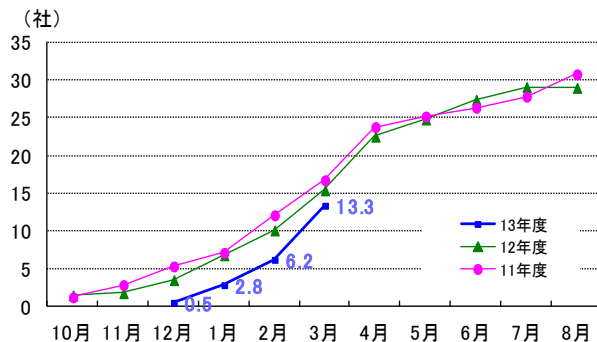
MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

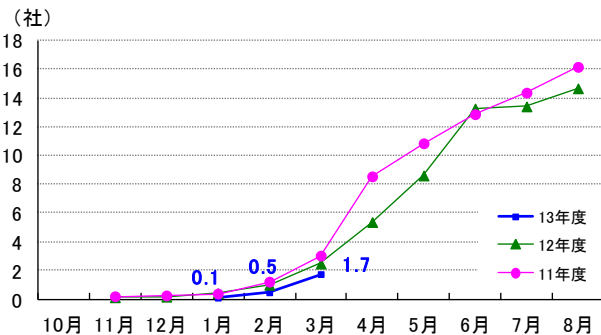
【図4: 企業セミナー予約社数<学生調査>】



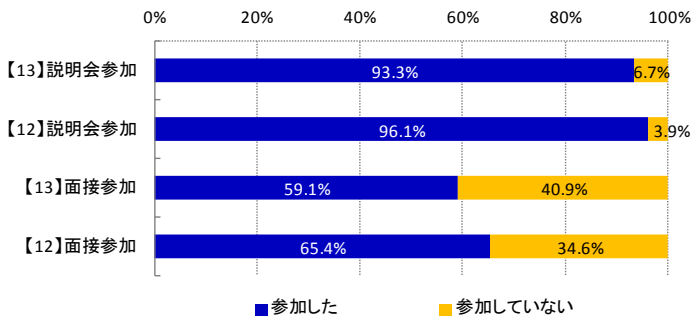
【図5: 企業セミナー参加社数<学生調査>】



【図6: 面接参加社数<学生調査>】



【図7: 企業セミナー・面接参加経験数<学生調査>】



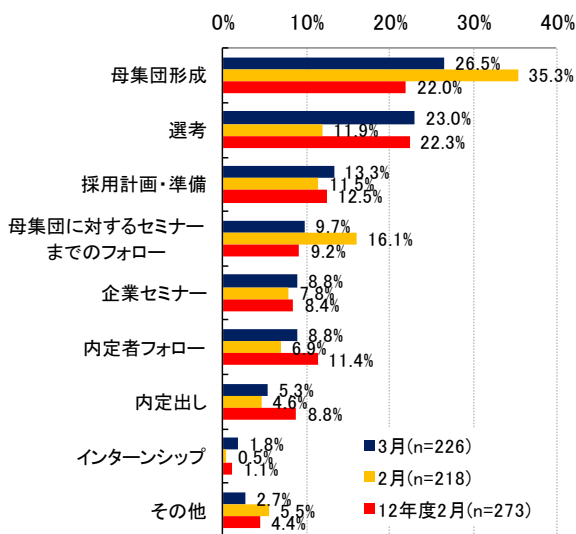
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図8: 現在の悩み<企業調査>】



【コメント2: 現在の悩み※理由<企業調査>】

<母集団形成>

- 母集団の減少は予想したが昨年の5分の1程度でここまで減少するとは思わなかった。リセットしてもワンクールしかけようと思う。(商社/300名~1000名/関東)
- 大手が4月からのため、志望度の低い学生ばかりが来る。(情報・通信/300名未満/関東)
- 学生が動いているのは感じるが、まだ実感が湧いていないようだ。学生は名の通った企業に集まっており、まだそれ以外の企業へのアプローチは少ない。面接時の心構えをアドバイスしてもあまり実感が無い様子。滑り止めでもいいので、1~2社は受けておいたほうが良いと思う。(メーカー/1001名~3000名/近畿)

<選考>

- 学生の理解度(働くことへの理解、弊社への理解ともに)が低いため。(マスコミ/300名未満/関東)
- グループディスカッション+面接(4回程)を予定しているが、それ以外に何か
プラスしたい。(メーカー/300名未満/東海)

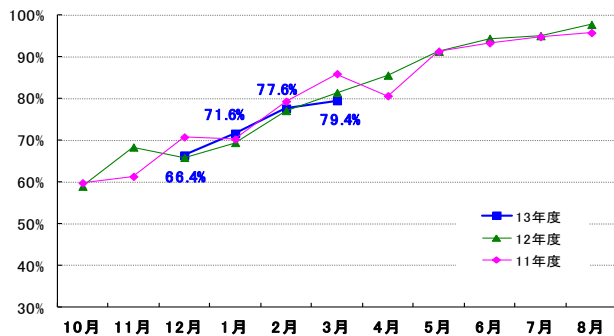
<母集団に対するセミナーまでのフォロー>

- 母集団から弊社の希望するレベルの人材をいかにしてセミナーに動員するかに苦心している。(商社/1001名~3000名/関東)

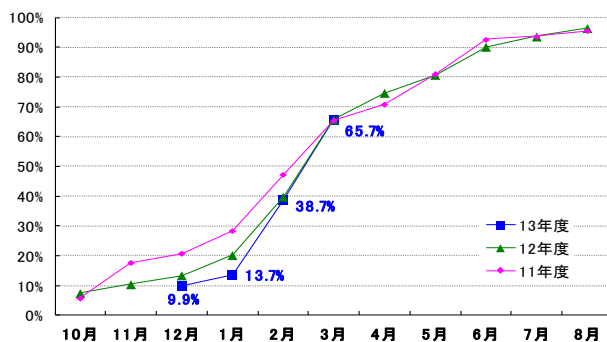
<企業セミナー>

- 学生が危機感をもって就活しているので、セミナー内容の善し悪しで、選考プロセスへの参加是非を判断するのではないか。(情報・通信/300名未満/関東)

【図9: エントリー受付開始率<企業調査>】



【図10: 会社説明会開始率<企業調査>】



【報道関係者各位のお問合せ先】

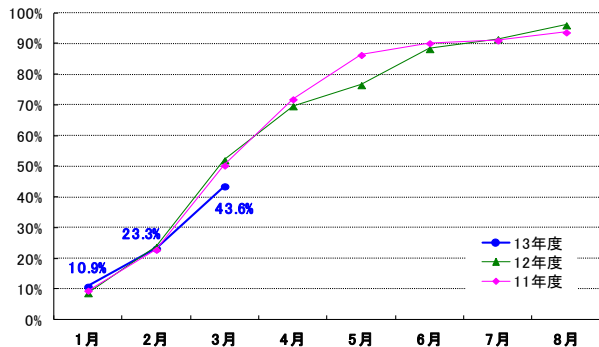
エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507

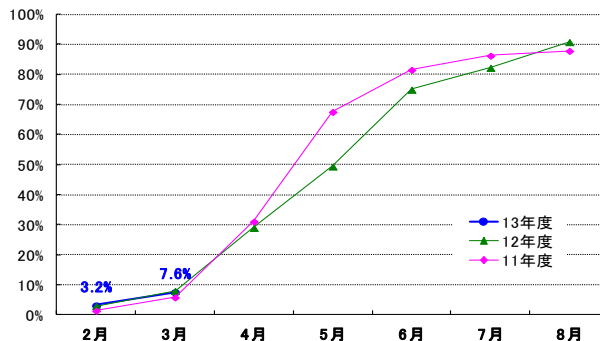
MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

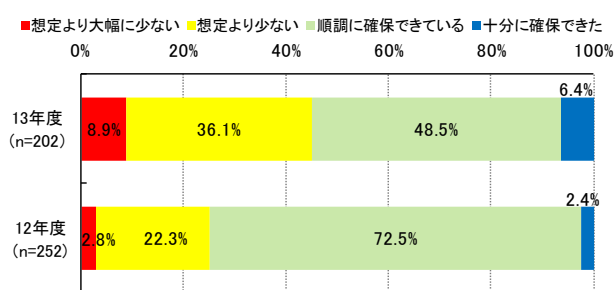
【図11: 選考開始率<企業調査>】



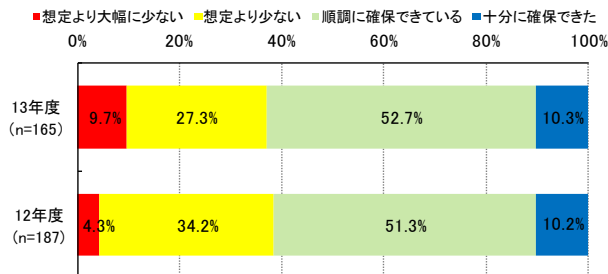
【図12: 内定出し開始率<企業調査>】



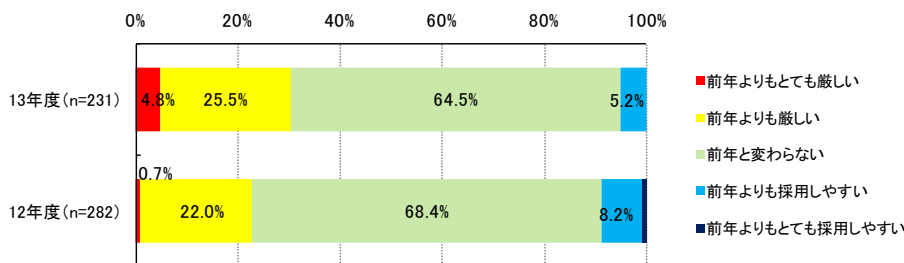
【図13: 母集団形成状況※前年比<企業調査>】



【図14: 会社説明会動員状況※前年比<企業調査>】



【図15: 前年と比較した採用市況※前年比<企業調査>】



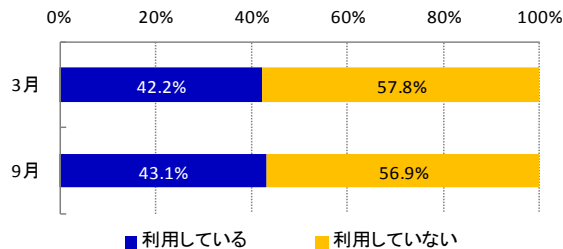
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

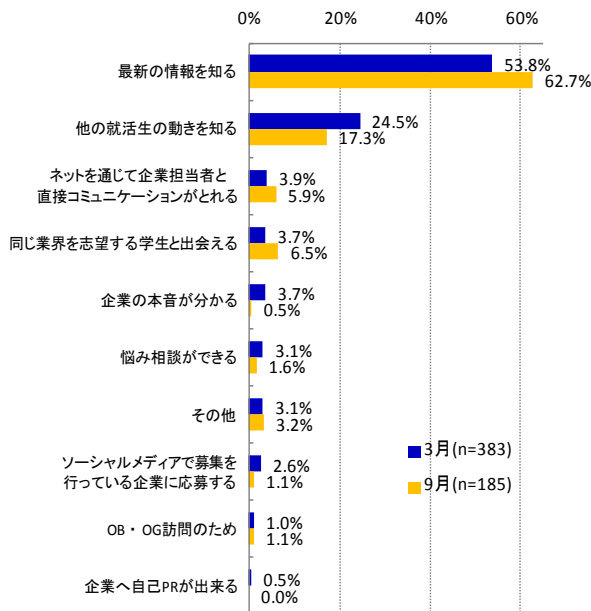
TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

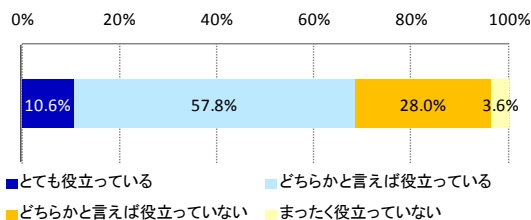
【図16: ソーシャルメディアの就職活動への利用率<学生調査>】



【図17: 就職活動時にソーシャルメディアを利用する理由<学生調査>】



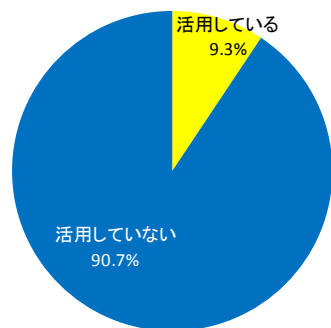
【図18: ソーシャルメディアの就職活動への役立ち度<学生調査>】



【コメント3: 就職活動でソーシャルメディアが役立った事例※学生フリーコメント<学生調査>】

- facebook上でしか知ることのできない就活イベントや団体がある。実際、私は昨年12月に、業界の違う2社がコラボした、会社説明会に参加した。この説明会は主にfacebook・twitterでしか告知をしていなかった。その他にも、他大の内定者たちが開く、就活塾のようなもの、facebookを利用していなかったら、知ることすらできなかったと思う。会社説明会の会社で知り合った就活生とも、気軽に連絡先を交換できる。(文系/女性)
- 企業から投稿される最新情報(新卒採用情報以外の情報も含みます)を知ることによって、企業に対する理解や企業研究に役立っています。(文系/男性)
- 就職応援系のアカウントをフォローしているので、その眩きを参考にしています。知らなかったサイトを教えていただいたり、他の学生の質問回答が回ってきたりと参考になります。また、困ったときはリブを飛ばして相談にのっていただいています。すぐに返信してもらえるので、就職課や各ナビサイトで質問するよりもはるかに早く、頼りになります。(文系/女性)
- 企業の社内風景の写真をアップしていただいたり、説明会の予約が始まる情報を就職サイトよりいち早く入手できるから。(文系/男性)
- 次に選考のある企業に先に選考に行った人の書き込みを見て、面接での雰囲気や大体つかむことができました。(文系/女性)

【図19: 新卒採用におけるソーシャルメディアの活用<企業調査>】



【コメント4: 新卒採用でソーシャルメディアが役立った事例<企業調査>】

- 以前ツイッターを使っていた時は学生と気軽にやりとりすることができた。メールのように堅苦しくなく良かったと思う。(情報・通信/300名未満/九州・沖縄)
- ナビに載せるほどでもない、ささいなニュースなどを載せているが、意外と学生から評判がいい。(サービス/300名~1000名/関東)
- WEBセミナーを導入した。セミナーが開催されないエリアの学生の獲得ができた。(金融/3001名~/関東)
- ナビやホームページでは得られない実情を学生が理解してくれるようになっていく。セミナーでの質問でもfacebookの内容に目を通してくる学生が増え、記載されている内容に関連した質問が出る傾向がある。(メーカー/300名未満/関東)

【報道関係者各位のお問合せ先】

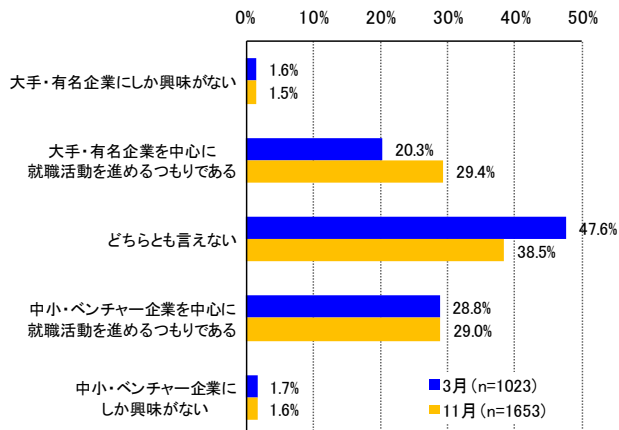
エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507

MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図20: 企業規模別の関心度<学生調査>】



【コメント5: 企業規模別の関心度※学生フリーコメント<学生調査>】

＜大手・有名企業にしか興味がない＞

●安定している。仕事を聞かれたとき、誰でも知っている企業だったら嬉しいから。(理系/男性)

＜大手・有名企業を中心に就職活動を進めるつもりである＞

●企業体力の面で中小よりも安心。大企業は入社する人間もそれなりの人間なので、自己成長も期待できる。大企業は情報が多いから企業の善し悪しの判断がしやすい。(文系/男性)

●結婚、出産をしてからも仕事を続けたいので、福利厚生制度があり、かつその制度が社員の間で浸透していないと不安だから。大手・有名企業ならその点において安心できます。(文系/女性)

＜どちらとも言えない＞

●会社の規模も大切だが、会社の経営理念に共感でき、ここで働きたいと思える企業を選びたい。(理系/男性)

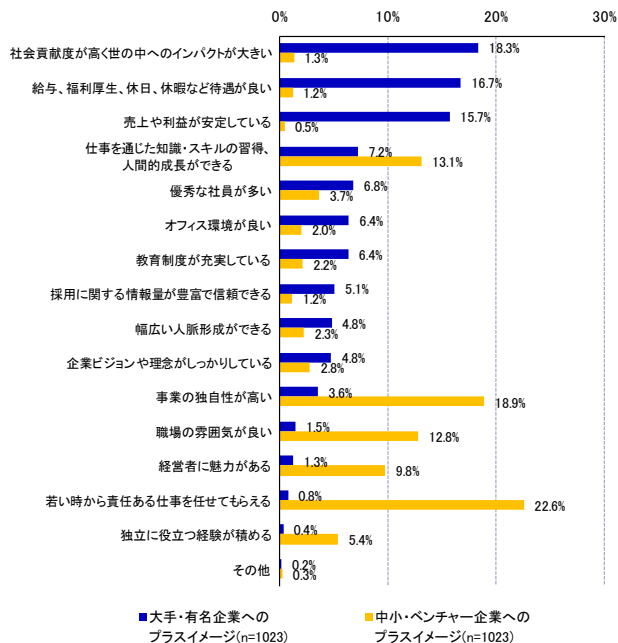
●規模と会社の成長性には関連がないと思うからです。規模が大きいかからといってこれからも成長し続けるとは限らず、小さくとも成長を見込める企業は多々あります。規模よりも成長性・仕事内容にこだわります。(理系/男性)

＜中小・ベンチャー企業を中心に就職活動を進めるつもりである＞

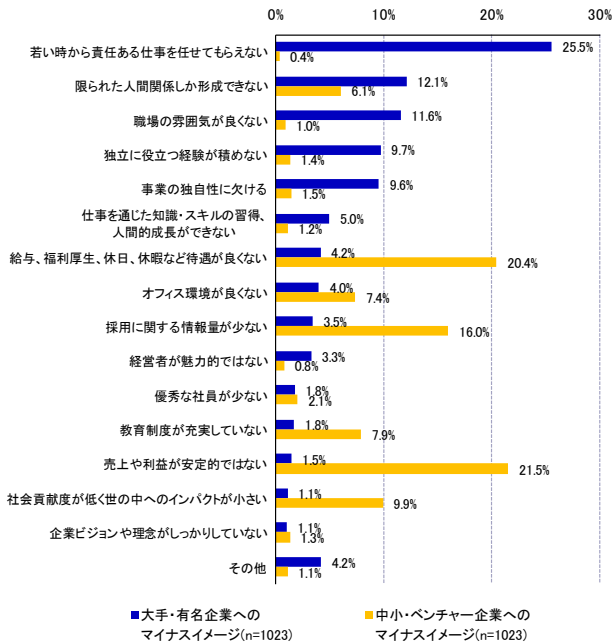
●大企業だとライバルが多すぎて、入れる気がしない。(理系/男性)

●中小企業の中でも、今後の成長が見込まれ、経営も安定していると思われるものがいくつもあるから。また、中小企業の場合、人数が少ないので、社内の人と人との関わりがより深くなれると感じるからです。(文系/男性)

【図21: 企業規模別のプラスイメージ<学生調査>】



【図22: 企業規模別のマイナスイメージ<学生調査>】



【その他の調査項目】※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

＜学生調査＞・志望業界・面接でアピールしたい要素
＜企業調査＞・インターンシップについて・企業理念の浸透

【調査概要】<学生調査>

対象: 「[en]学生の就職情報2013」に登録するモニター学生
期間: 2012年3月2日～ 3月12日

方法: E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数: 1,023名

※一般財団法人 エン人財教育センター調べ

<企業調査>

対象: 「[en]学生の就職情報パートナーズNEWS」登録企業
期間: 2012年3月2日～ 3月12日

方法: E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数: 284件

【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507

MAIL: en-press@en-japan.com